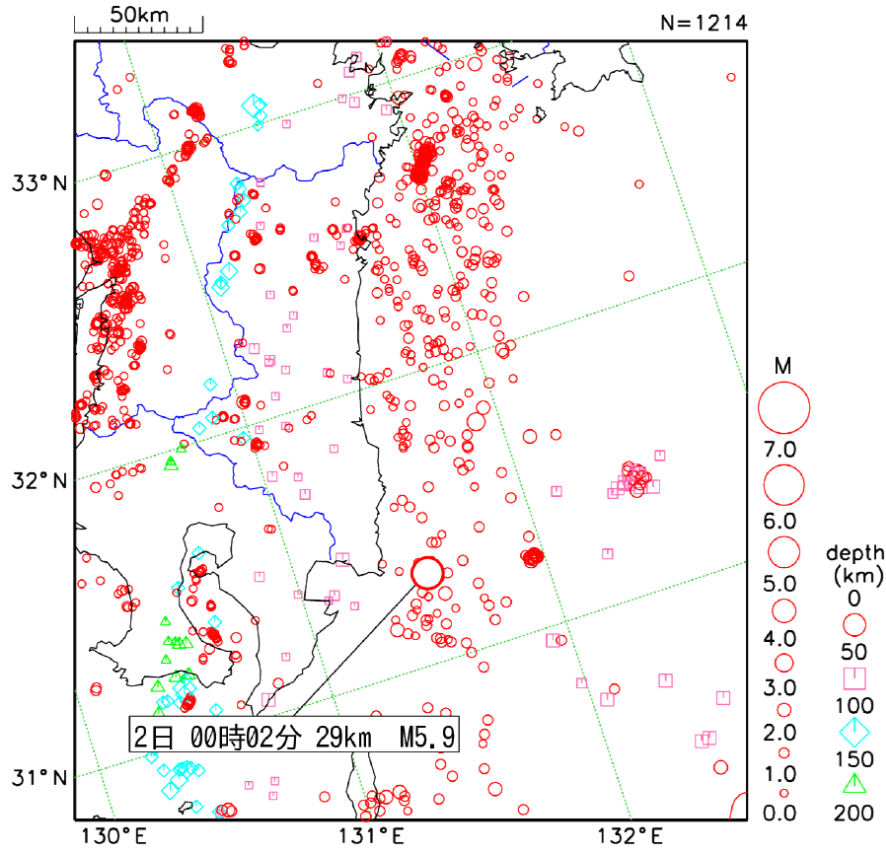


宮崎県の地震活動概況（2022 年 10 月）

令和 4 年 11 月 8 日
宮崎地方気象台

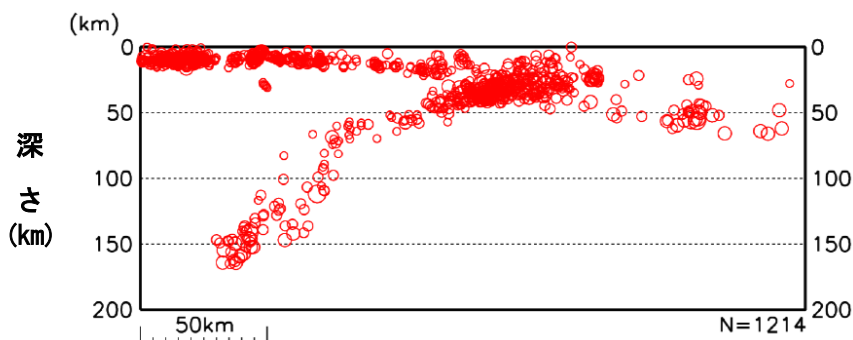
【地震活動の概要】

10 月に宮崎県内の震度観測点で震度 1 以上を観測した地震は 1 回（9 月は 3 回）でした。



震央分布図（2022 年 10 月 1 日～31 日、M0.0 以上、深さ 200 km 以浅）

地震の規模（マグニチュード M）は記号の大きさで、震源の深さを記号と色で示しています。
宮崎県で震度 1 以上を観測した地震に吹き出しをつけています。



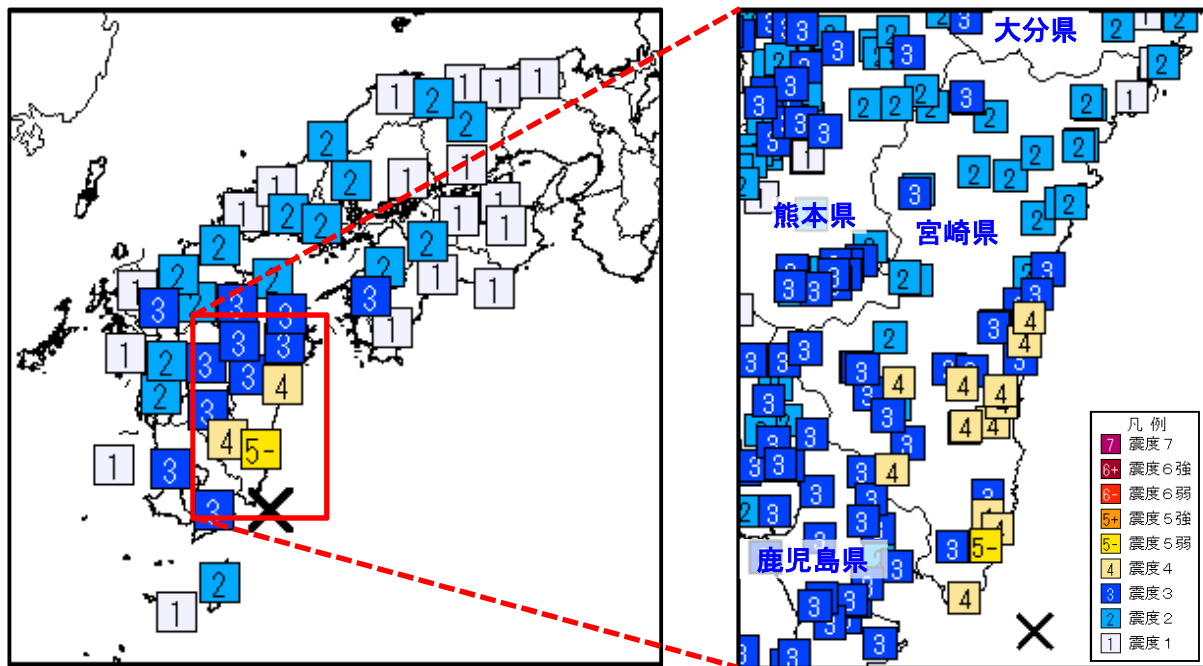
断面図（震央分布図の投影、深さ 200 km 以浅）

国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

2日 大隅半島東方沖を震源とする地震

2日 00時02分に発生したM5.9の地震（深さ29km）により、宮崎県日南市で震度5弱を観測したほか、九州、四国、中国、近畿地方で震度4～1を観測しました（図1）。

今回の地震の震源付近（図3領域b）では、日頃から地震活動がみられる領域で、2005年5月31日にはM5.8の地震（深さ29km、最大震度4）が発生し、県内では宮崎市、日南市、串間市、高鍋町で震度4を観測しました（図2～4）。



今回の地震 2日 00時02分 M5.9（左：地域別、右：観測点別）

図1 震度分布図（×：震央）

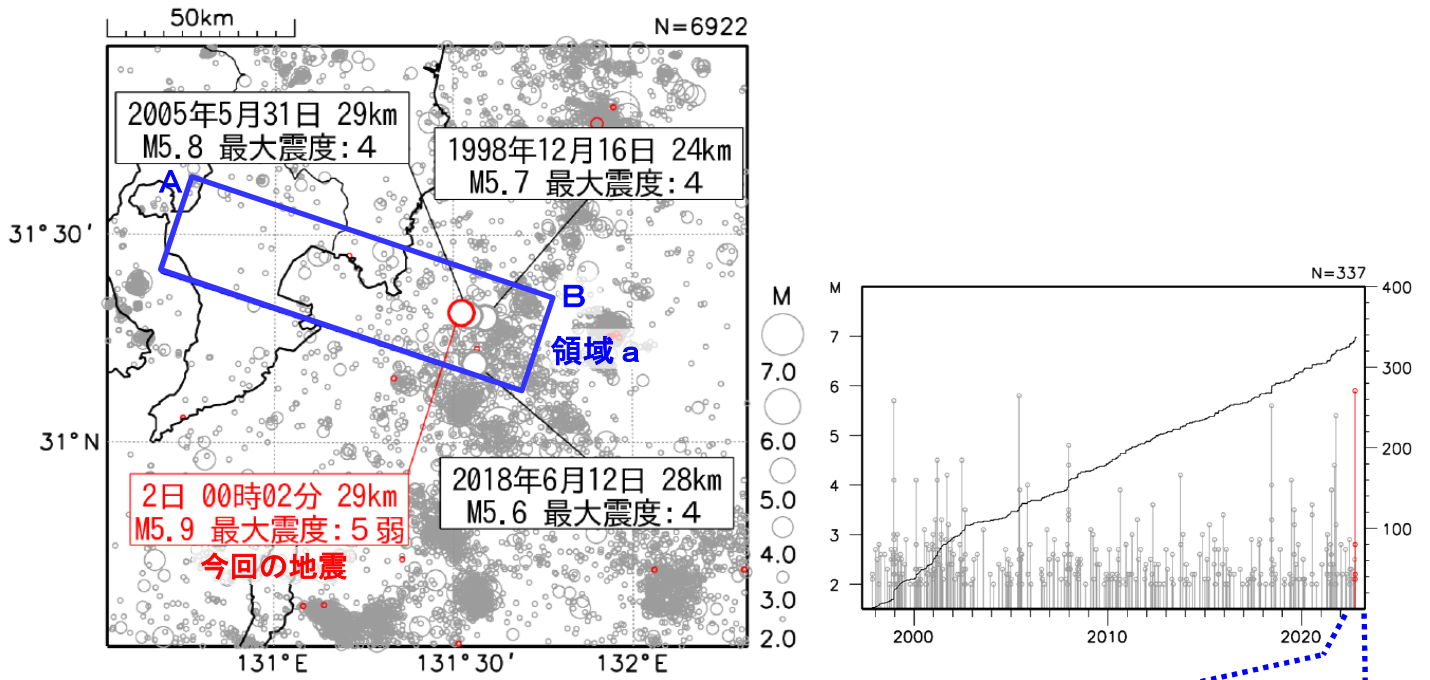


図2 震央分布図
(1997年10月1日～2022年10月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$)
※2022年10月以降の地震を赤色で表示

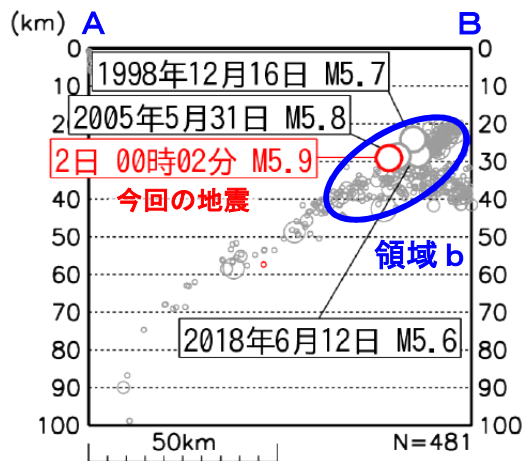


図3 図2領域a内の断面図 (A-B投影)

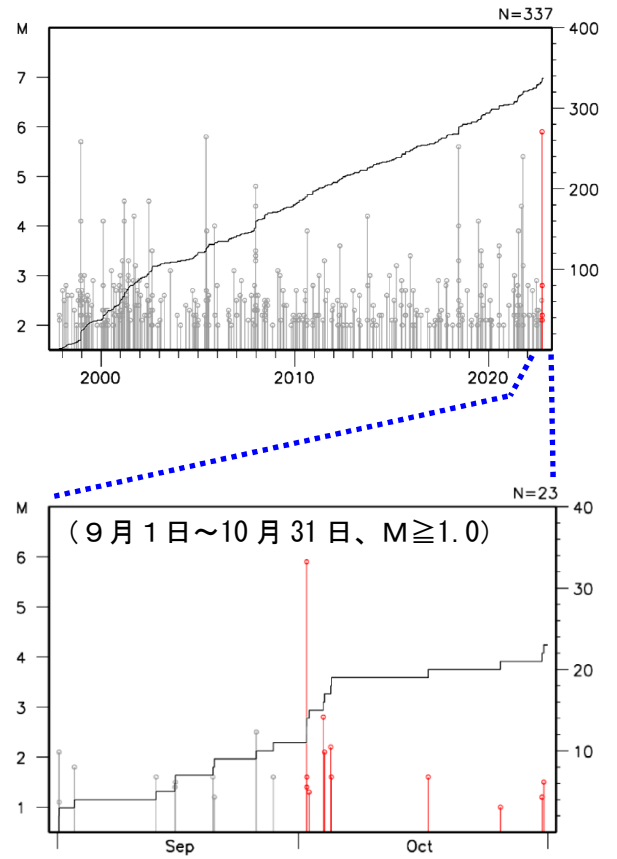


図4 図3領域b内の地震活動経過図
および回数積算図

宮崎県内で震度1以上を観測した地震の表 (10月1日～31日)

震源時 (年月日時分) 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ マグニチュード
2022年10月02日00時02分	大隅半島東方沖	31° 18.7' N	131° 31.3' E	29km M5.9
震度5弱: 日南市南郷町南町*				
震度4: 高鍋町上江*, 新富町上富田, 宮崎市霧島, 宮崎市松橋*, 宮崎市田野町体育館*, 宮崎市橘通東*, 宮崎市高岡町内山*, 宮崎市清武町船引*, 日南市油津, 日南市吾田東*, 串間市都井*, 都城市菖蒲原, 都城市北原*, 小林市野尻町東麓*				
震度3: 西都市上の宮*, 西都市聖陵町*, 川南町川南*, 宮崎都農町役場*, 木城町高城*, 椎葉村総合運動公園*, 高千穂町三田井, 宮崎市佐土原町下田島*, 宮崎市田野支所*, 日南市北郷町大藤, 串間市奈留, 国富町本庄*, 綾町南俣健康センター*, 都城市高崎町大牟田*, 都城市高城町穂満坊*, 小林市真方, 小林市役所*, 小林市細野*, えびの市加久藤*, 高原町西麓*				
震度2: 延岡市天神小路, 延岡市北川町川内名白石*, 延岡市北方町卯*, 延岡市北川町総合支所*, 延岡市東本小路*, 日向市亀崎, 日向市富高*, 日向市東郷町山陰*, 宮崎都農町川北, 西米良村板谷*, 西米良村村所*, 諸塚村家代*, 椎葉村下福良*, 高千穂町寺迫*, 日之影町七折*, 五ヶ瀬町三ヶ所*, 宮崎美郷町宇納間*, 都城市高崎町江平, 小林市中原*				
震度1: 延岡市北浦町古江*				

1) 使用した震源要素等は暫定値であり、後日修正することがあります。

* は地方公共団体または、国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点です。

長周期地震動に対応した防災気象情報の強化について

令和5年2月1日から、緊急地震速報の発表基準に長周期地震動階級を追加するとともに、長周期地震動に関する観測情報の発表を迅速化します。

長周期地震動とは、大きな地震で生じる、ゆっくりとした大きな揺れ(周期が長い揺れ)のことをいいます。高層ビルなどでは長周期地震動により大きく長時間揺れ続けることがあります。このたび、長周期地震動による被害の軽減に資するため、令和5年2月1日(水)から、以下の防災気象情報の強化を行います。

○緊急地震速報の発表基準に長周期地震動階級を追加

長周期地震動による被害の可能性がある場合も緊急地震速報を発表するよう、予想される長周期地震動階級を、緊急地震速報の発表基準に新たに追加します。

○長周期地震動に関する観測情報の発表を迅速化

現在、地震発生から20～30分程度を要している長周期地震動に関する観測情報の発表を迅速化し、地震発生から10分程度で発表します。

○長周期地震動に関する予測情報（緊急地震速報の改善）

- これまでの緊急地震速報は、下記のとおり震度の予想によって発表していました。
- 今後は**発表条件に長周期地震動階級の予測値を追加して提供**することとし、**長周期地震動階級3以上を予測した場合でも、緊急地震速報（警報）※を発表します。**
※緊急地震速報（警報）の発表条件には、長周期地震動階級1以上を予測した場合を追加します。

○運用開始日：令和5年2月1日

○緊急地震速報（警報）の発表条件 赤字：変更点

発表条件	震度5弱以上を予想した場合 +（または） 長周期地震動階級3以上を予想した場合
対象地域	震度4以上を予想した地域 +（または） 長周期地震動階級3以上を予想した地域

○長周期地震動の基準で発表される緊急地震速報の例
（平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震）

緊急地震速報を見聞したら、これまで通り身を守る行動をとってください。

○長周期地震動に関する観測情報

- 高層ビル等で被害をもたらす長周期地震動への対応として、「長周期地震動階級」をお知らせする「長周期地震動に関する観測情報」を気象庁HPで提供中です。
- 令和5年2月1日からはオンラインによる配信を開始し、現在、地震発生から20～30分程度で提供しているものを、今後は**10分程度に迅速化し提供**する予定です。
- 高層ビルの管理などにご利用ください。

リニューアル後の長周期地震動観測情報ページ

詳細については、気象庁 HP をご覧ください。

https://www.jma.go.jp/jma/press/2210/26b/20221026_lpgm_start.html

また、防災気象情報の強化に向け、気象庁HPの長周期地震動のページを順次リニューアルし、より分かりやすく紹介していきますので、是非ご参照ください。

<https://www.data.jma.go.jp/egev/data/choshuki/index.html>